

はじめに

県内に江戸時代以前からある道(歴史の道)には、神社仏閣など数多くの構築物、人々が育んできた豊かな生活文化の痕跡など、道にまつわる歴史や数々のエピソードが存在します。

本県では、それらを観光資源として最大限活用することで、首都圏をはじめとした県内外の新しい生活様式・旅行スタイルに対応した観光客を取り込み、県内各地での観光消費の拡大を図ると共に、地元関係者の歴史の道に対する理解を深め、文化資源の活用・保全にもつなげていくことを目的とした「やまなし歴史の道ツーリズム」の推進に取り組んでいます。

令和2年度より実施してきた本事業では、『山梨県歴史の道ガイドブック(山梨県教育委員会：平成10年3月発行)』に整理された山梨県内にある歴史の道22道から、「甲州街道」「富士道(谷村路)」「秩父往還」「棒道」「みのぶ道」の5道を選定し、地元関係者と沿線の資源を調査した上で、ストーリーを持って各道の魅力を紹介するためのモデルコースを設定し、案内ガイドをはじめとする方々を対象とした研修会の開催、旅行会社等を招いたファミトリップ、モニターツアーによる検証などを実施してきました。併せて、各種媒体等を活用したプロモーション、大判マップや御朱印帳の作成、案内板の整備、セルフガイドのツールとなるガイドアプリの制作など、歴史の道を活用した周遊促進の環境を整備してきたところです。

本手引きは、こうした取組過程や事業の成果を整理することにより、今後県内の他の歴史の道においても同様の取組が進められ、各地域の観光振興につながることを目指して取りまとめました。県内各所で観光振興及び文化財の保護・活用に取り組む皆様方には、是非本書を御活用いただき、「やまなし歴史の道ツーリズム」に取り組んでいただければ幸いです。

結びに、本手引きの制作に当たり、内容の監修、写真提供などに多くの御協力を頂きました有識者の皆様や県内の関係市町の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和4年3月

山梨県観光文化部